



NTT DATA
Trusted Global Innovator

令和5年度新事業創出・食品産業課題解決プラットフォーム運営・調査 委託事業のうちフードテック官民協議会運営等委託事業 事業報告書

2024年3月15日
株式会社NTTデータ経営研究所

| | |
|------------------------------------|-----------|
| (1) 協議会事務局運営 | 3 |
| ① 総会の開催 | 4 |
| ② 提案・報告会の開催 | 4 |
| ③ 会員の入退会受付、会員名簿の管理 | 7 |
| ④ 会員向けの情報提供 | 8 |
| (2) 会員等のマッチングの強化 | 9 |
| (3) スタートアップエコシステムの強化 | 15 |
| (4) フードテックビジネスコンテスト業務 | 19 |
| ① 審査委員の選任 | 20 |
| ② ビジネスプランの募集 | 22 |
| ③ 審査委員会の運営 | 24 |
| ④ 本選審査及び表彰式の運営 | 25 |
| ⑤ 副賞等の企画 | 28 |
| ⑥ 受賞者の情報発信 | 29 |
| (5) ロードマップの改訂支援 | 30 |
| ① WT・CC等からの意見聴取 | 31 |
| ② 協議会会員からの意見聴取 | 32 |
| (6) WT・CCの進行管理 | 33 |
| (7) Appendix | 39 |

(1) 協議会事務局運営

(1) 協議会事務局運営

① 総会の開催、② 提案・報告会の開催 (1/3)

総会／提案・報告会を3回開催し、ロードマップ改訂報告、WT/CC・会員・関係者からの報告、有識者講演、ネットワーキング等を実施した。

令和5年度 第1回 開催概要

日時：2023年6月20日15時00分～18時00分

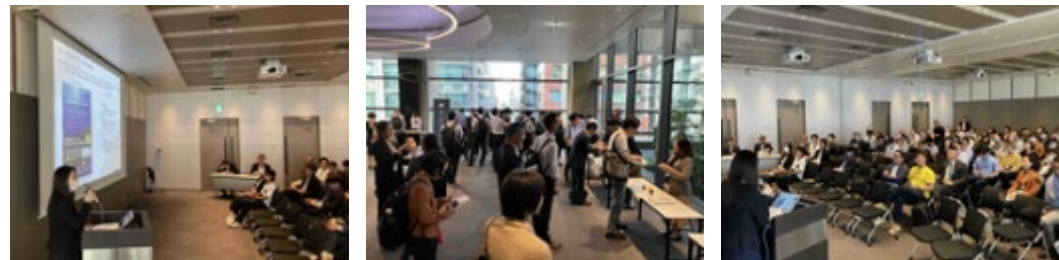
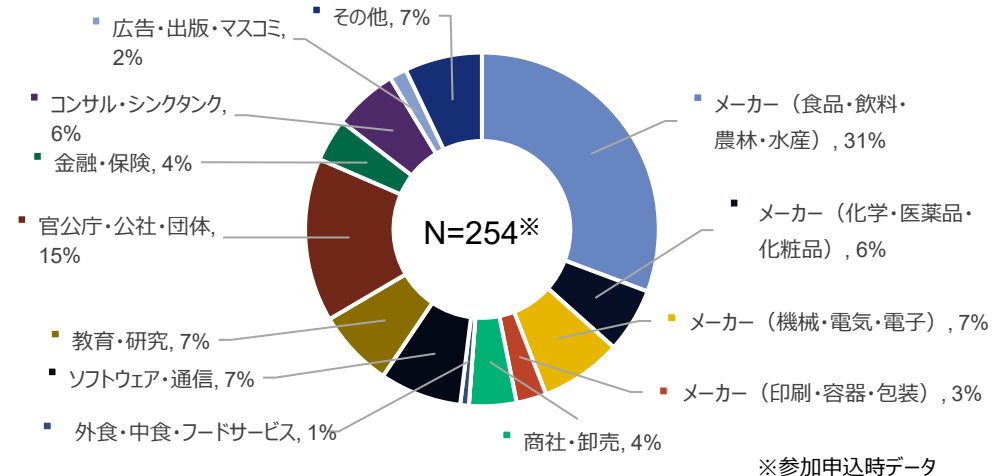
場所：室町三井ホール&カンファレンス (Web併催)

参加者：240名 (会場100名、オンライン140名)

議事：

1. 農林水産省ご挨拶
2. 今年度の協議会方針・実施内容
 - ① 今年度の方針策定における背景
 - ② 今年度の方針・実施内容・スケジュール案
 - ③ ビジネスプランコンテストの案内
3. JETROからの情報提供
 - ① 世界をめざすフードテックスタートアップへのサポートメニュー (JETRO イノベーション部)
 - ② シンガポールのスタートアップ・エコシステム (JETRO シンガポール)
 - ③ オランダのフードテックについて (JETROアムステルダム)
4. SBIR基金事業に関する説明
5. WT/CCからの報告 (スマート育種産業化WT、ヘルス・フードテックWT、細胞農業CC)
6. 会員からの提案・報告 (全16団体発表)
7. ネットワーキング (全17団体ブース出展)

内訳



(1) 協議会事務局運営

① 総会の開催、② 提案・報告会の開催 (2/3)

令和5年度 第2回 開催概要

日時：2023年10月25日15時00分～18時00分

場所：東京ミッドタウン八重洲（Web併催）

参加者：170名（会場82名、オンライン88名）

議事：

1. 農林水産省ご挨拶

2. ロードマップ改訂報告

3. WT/CCからの報告

（細胞農業WT、食生活イノベーションWT、Plant Based Food普及推進WT、ヘルス・フードテックWT、細胞農業CC）

4. <特別講演> 西村あさひ法律事務所 杉山泰成氏、辻本直規氏、金子祥悟氏

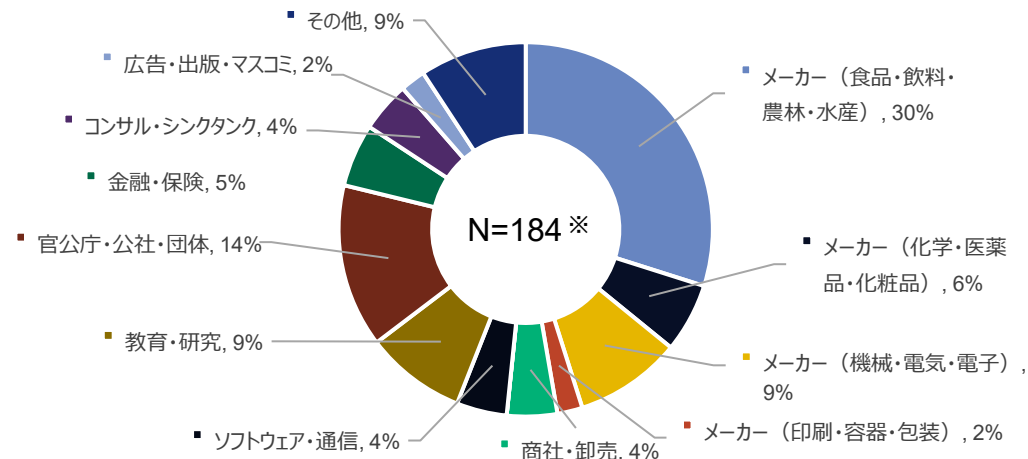
「フードテック企業の海外展開時の法務戦略について～海外展開時に留意すべき契約や法規制～」

5. 会員からの提案・報告

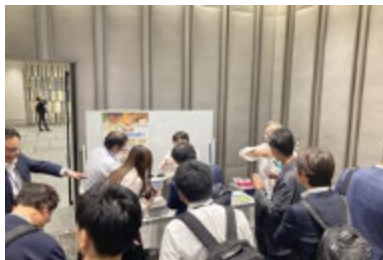
6. 勉強会・セミナー実施報告（全8団体発表）

7. ネットワーキング（全7団体ブース出展）

内訳



※参加申込時データ



(1) 協議会事務局運営

① 総会の開催、② 提案・報告会の開催 (3/3)

令和5年度 第3回 開催概要

日時：2024年2月20日14時30分～18時00分

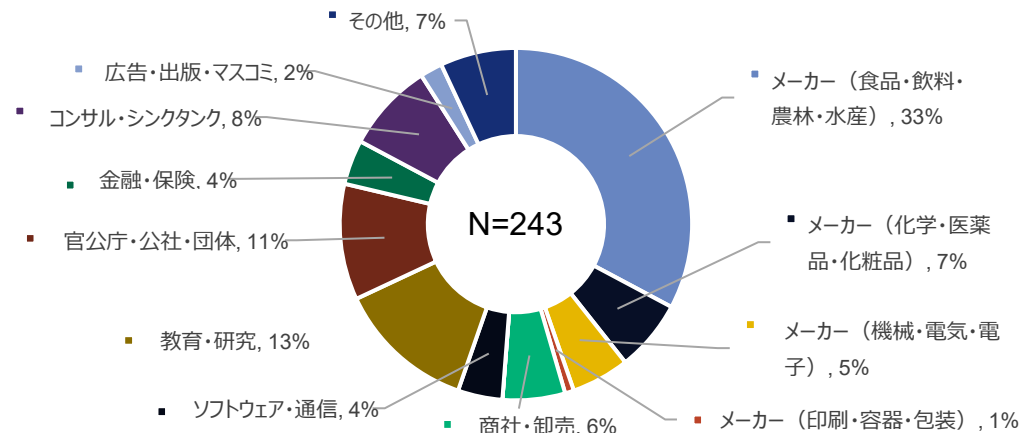
場所：東京ミッドタウン八重洲（Web併催）

参加者：243名（会場110名、オンライン：133名）

議 事：

1. 農林水産省ご挨拶
2. 支援策（フードテック関連予算等）の説明
3. WT/CC からの提案・報告
食生活イノベーション WT、昆虫ビジネス研究開発 WT、Plant Based Food 普及推進 WT、ヘルス・フードテック WT、FOOD TECH Lab CC)
4. 農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）からの研究テーマ発表
「農研機構の技術・研究リソース活用で課題解決のスピードアップを！」
5. 会員からの提案・報告（全16団体発表）
6. 勉強会・セミナー実施報告
7. 会員向けアンケート結果報告
8. ネットワーキング（全15団体ブース出展）

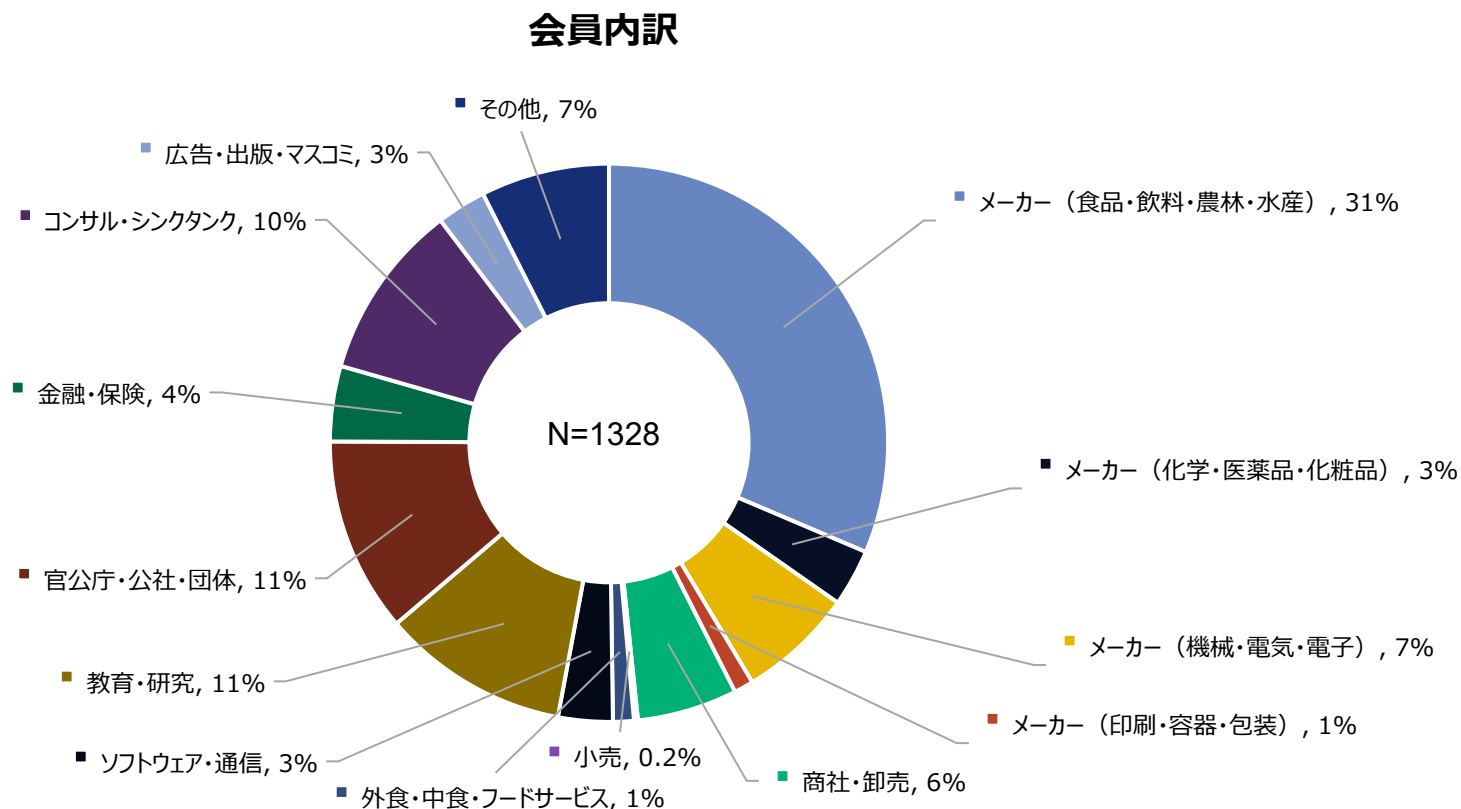
内 訳



(1) 協議会事務局運営

③ 会員の入退会受付、会員名簿の管理

会員の入退会は、農林水産省のWEBサイトにリンクを設置した当社の「資料請求フォーム」を通じて実施。会員数は約1,160名から約1,320名となり、事業期間中に150人以上増加した。



(1) 協議会事務局運営

④ 会員向けの情報提供

会員向けの情報提供として、毎月国内外のフードテックをめぐる動向やフードテックに関連する情報をメールマガジン「フードテックマンスリーレポート」にて配信した。また、貴省や会員からの依頼に基づき、月次以外にもメールマガジンで会員に対して関連する情報を提供した。

フードテックマンスリーレポートのタイトルピック・毎月のメール配信数

| 発行月 | 件名に付した主要なトピック（毎月配信メール数） |
|----------|--|
| 2023年4月 | 総会提案・報告会の開催周知、補助事業募集 他（月次含め1本配信） |
| 2023年5月 | 総会提案・報告会の参加案内、補助事業募集、ファンド情報公開 他（月次含め5本配信） |
| 2023年6月 | 総会提案・報告会の資料公開、フードテックビジネスコンテスト賛助依頼、セミナー開催案内 他（月次含め4本配信） |
| 2023年7月 | フードテックビジネスコンテスト賛助依頼、セミナー開催案内 他（月次含め5本配信） |
| 2023年8月 | 総会提案・報告会の開催周知、フードテックビジネスコンテストプラン募集 他（月次含め6本配信） |
| 2023年9月 | 総会提案・報告会の参加案内、フードテックビジネスコンテストプラン募集 他（月次含め6本配信） |
| 2023年10月 | フードテックビジネスコンテストスケジュール周知、あふの環プロジェクト動画募集 他（月次含め9本配信） |
| 2023年11月 | 総会提案・報告会の開催周知 他（月次含め4本配信） |
| 2023年12月 | ピックアップ情報 他（月次含め5本配信） |
| 2024年1月 | 総会提案・報告会の参加案内 他（月次含め9本配信） |
| 2024年2月 | フードテックビジネスコンテスト結果報告、セミナー情報 他（月次含め8本配信） |

(2) 会員等のマッチングの強化

(2) 会員等のマッチングの強化

① 方針策定 (1/2)

方針策定にあたり、会員との意見交換やアンケート等から要望を収集し、有識者の意見を参考に今年度の活動を検討した。

STEP 1 情報収集

■ WTとの意見交換及び会員向けアンケート

■ 活動検討会議

日時：2023年5月11日14時00分～16時00分

場所：東京ミッドタウン八重洲

参加者：7名（大手食品企業、スタートアップ、VC）

概要：

- ・ 事業連携や投資時の課題感や期待
- ・ フードテック推進に向けた意見収集

STEP 2 戦略検討

■ 戦略検討会議

日時：2023年5月25日13時30分～15時30分

場所：東京ミッドタウン八重洲

参加者：田中 宏隆氏（株式会社シグマクス）、有馬 暁澄氏（Beyond Next Ventures）、中野 玲也氏（森・濱田松本法律事務所）

概要：

- ・ 国内オープンイノベーションを進める方策、新たなテーマ創出
- ・ スタートアップ育成に向けて有効な手法
- ・ 海外展開に向けて有効な手法

フードテック推進における課題・解決策の総括

資金調達
関連

- ・ SU側の認識は資金流通が少ないという認識。事業会社は投資対効果を見込める企業がないという認識で認識に乖離がある。当認識の差を埋める方法の1つは、技術を正しく評価出来る人の育成・アサインか。

事業連携
関連（販路の
支援・共同開
発）

- ・ 全般的にうまくいかないことが多い認識。大手側のコミットメントが成功の鍵を握っていることが多く、出向者等を出して、「人」をコミットさせるかが成功/失敗の鍵を握っている模様。

戦略検討におけるご意見総括

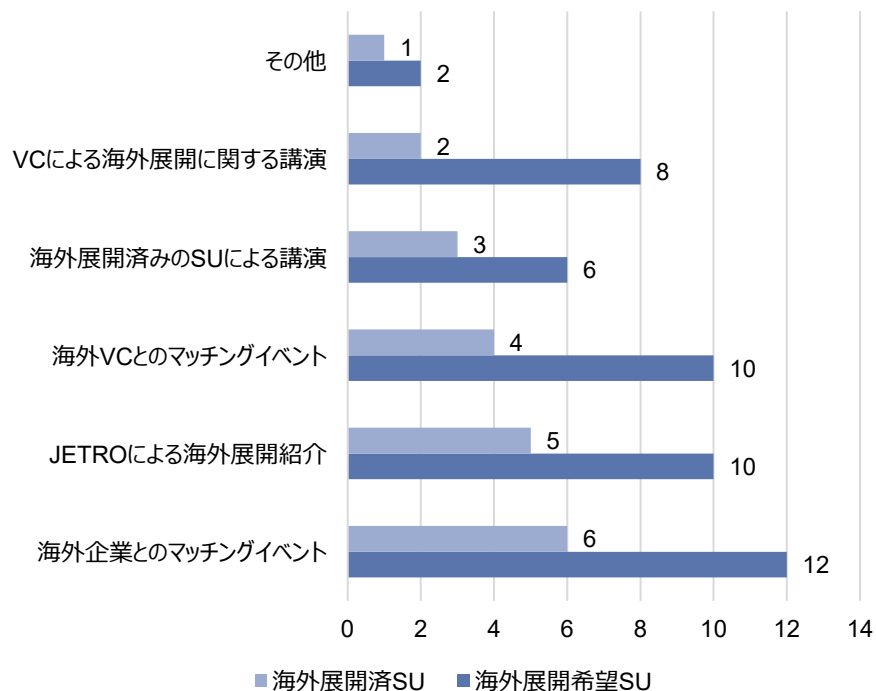
- ・ 熱意あるメンバーが集まり、課題を共有する場が必要。フードテック官民協議会だからこそ解くべき問いは何か。
- ・ 既存のWTでは解決できないような、業界横断的な課題について議論、アプローチすることはできないか。（例：販売関連（消費者行動）、規制へのアプローチ）
- ・ 日本だからこそ解決すべき課題について、議論、アプローチすることはできないか。（例：災害食関連、和食の海外展開、健康関連）

(2) 会員等のマッチングの強化

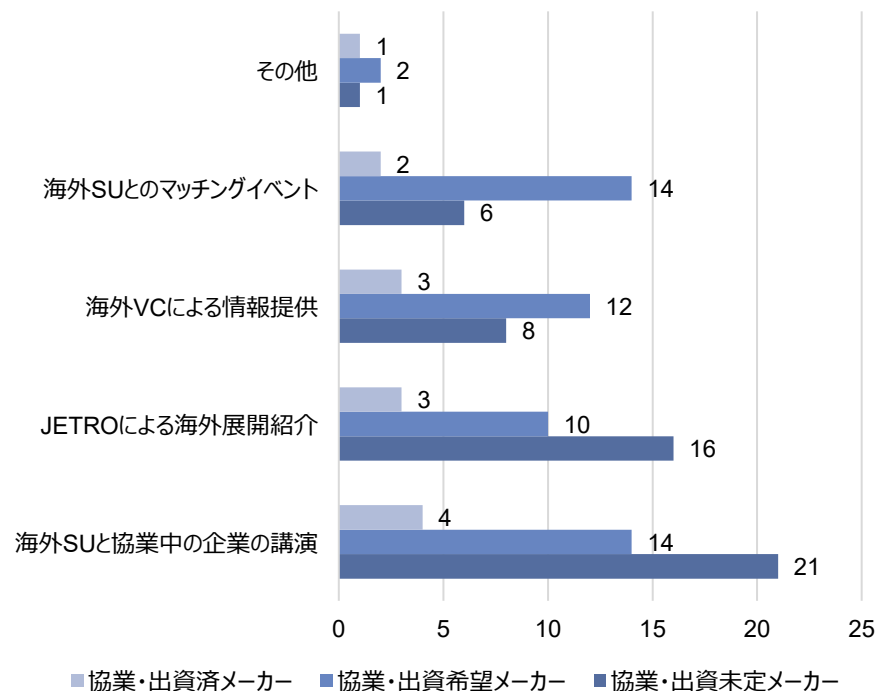
① 方針策定 (2/2)

事業の海外展開に関するアンケート結果より、スタートアップ、スタートアップ以外の事業会社合計で49社以上の企業が海外展開に興味がある旨、確認した。JETROによるイベントはスタートアップ、事業会社ともに期待値が高かった。

海外展開における課題 (対象：スタートアップ)



海外協業・出資における課題 (対象：事業会社)



N=75

※結果一部抜粋

(2) 会員等のマッチングの強化

② イベントの開催状況

フードテック推進に向けて、「海外展開支援」「消費者アプローチ」「日本らしさの追求（和食や健康価値の追求）」をテーマとした勉強会・セミナーを開催した。

イベントの開催概要

| テーマ | 開催日 | 形式 | タイトル |
|-----------|-------------|------|---|
| 消費者アプローチ | 2023年9月27日 | 勉強会 | 消費者アプローチ／サステナブルなレストラン |
| 健康価値の追求 | 2023年10月3日 | 勉強会 | 健康と美味しさを両立させるために必要なフードテック |
| 海外展開 | 2023年7月18日 | セミナー | 国内スタートアップ企業向け JETRO東京・海外展開支援解説セミナー |
| 海外展開 | 2023年8月25日 | セミナー | 海外スタートアップ企業との協業・出資を検討する企業向け JETRO東京・海外展開支援解説セミナー |
| 海外展開 | 2023年11月14日 | セミナー | 欧米トップVC～アクセラが期待するポイント～ |
| スタートアップ強化 | 2023年11月25日 | セミナー | フードテックスタートアップ強化セミナー |
| 健康価値の追求 | 2023年9月22日 | セミナー | 健康情報統合データベースの構築と利活用 |
| 日本食 | 2023年11月14日 | セミナー | 日本食・日本産農産物の海外展開と輸出戦略 |
| 日本食 | 2023年12月12日 | セミナー | 日本食ブームを支える技術 |

(2) 会員等の
マッチングの強化

(3) スタート
アップエコシステムの
強化

(2) 会員等のマッチングの強化

③ 勉強会の開催

消費者アプローチ

日時：2023年9月27日16時00分～18時00分

場所：東京ミッドタウン八重洲

進行：日本電気（株）（現Policy Makers Lab） 田中 雄揮 氏

現地参加者：23名

概要：

サステナブルな取り組みを行うレストランに対し、消費者の関心が高まり、進んで食事を行いたくなるメカニズムを解明し社会実装の足掛かりを作ることを目指す

■ 現状把握

- 感度が高い消費者の行動／食に関連するストーリーの訴求力／他業種業界の成功事例と共通点

■ 普及課題

- 取り組みを行うレストランの現場課題／消費者が納得するアピール要件／感度が低い関心がある消費者に対するアプローチ

■ 課題解決策

- 得られた課題を解決するためのメカニズム／Web3を用いた課題解決／エコシステム化／他業種業界との連携



健康と美味しさを両立させるために必要なフードテック

日時：2023年10月3日16時00分～18時00分

場所：東京ミッドタウン八重洲

進行：（株）ゼンショーホールディングス 永井 元 氏

現地参加者：30名

概要：

- どういう技術イノベーションが必要か？

栄養吸収の可視化／食行動の記録とそのデータ化／デジタルツイン

- 健康を考えた新しい食品の定義

（健康を考えた）我慢をしない食事／化学成分からの食品設計

- 健康啓蒙の刷新

態度変容（行動変容）／健康非関心層の食生活改善の仕組み作り／データサイエンスからのアプローチ、予測システム



(2) 会員等のマッチングの強化

④ 総会／提案・報告会におけるマッチングの場創出

各回の総会／提案報告会において、会員及び関係者からの発表及びブース出展を募集し、フードテック関連の取組や技術シーズの紹介、イベント告知等が行われた。

| | 第1回総会／提案報告会 | 第2回総会／提案報告会 | 第3回総会／提案報告会 |
|-------|--|--|---|
| 発表・出展 | <ul style="list-style-type: none"> ・ (株) NTTデータ ・ (株) ウェルナス ・ ミツイワ (株) ・ (株) コル ・ (株) Sydecas ・ Sustainable Food Asia (株) ・ (株) Kinish ・ (株) アルガルバイオ ・ DSM (株) ・ (株) Agnavi ・ SAKE Generation (株) ・ 細胞農業CC | <ul style="list-style-type: none"> ・ (株) エスケア ・ 荏原製作所 ・ (株) あじかん ・ ミツイワ (株) ・ Shojinmeat Project ・ (株) アルガルバイオ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 農研機構 ・ ミツイワ (株) ・ (株) Finger Vision ・ ICS-net (株) ・ AGRIST (株) ・ (株) ファームシップ ・ (株) エンドファイト ・ (株) TOKYO8 GLOBAL ・ (株) CAN EAT ・ (株) ウェルナス ・ (株) ファーマンステーション ・ (株) MNH ・ 中小企業基盤整備機構 ・ ヘルス・フードテックWT |
| 発表のみ | <ul style="list-style-type: none"> ・ (株) SDGインパクトジャパン ・ Wildcard Incubator ・ 西村あさひ法律事務所 ・ (株) エスケア ・ 東芝エネルギーシステムズ (株) | <ul style="list-style-type: none"> ・ RX Japan ・ bitBiome (株) | <ul style="list-style-type: none"> ・ プラチナバイオ (株) ・ (株) リプル ・ GROW / (株) メロス ・ ReThink / (株) メロス |
| 出展のみ | <ul style="list-style-type: none"> ・ (株) 東京バル ・ 衣笠屋 ・ 新エネルギー・産業技術総合開発機構 ・ Byte Bites (株) ・ (株) CAN EAT | - | <ul style="list-style-type: none"> ・ (有) 幸和商事 |

(3) スタートアップエコシステムの強化

(3) スタートアップエコシステムの強化

① 海外展開セミナーの開催

国内スタートアップ企業向け JETRO東京・海外展開支援解説セミナー

日時：2023年7月18日14時00分～16時00分

場所：東京ミッドタウン八重洲 + zoomウェビナー

講演者：JETROイノベーション部 樽谷 範哉 氏

現地参加者：2名

オンライン参加者：16名

概要：

- 世界にスケールするスタートアップの mindset (シリコンバレーの事例から)
- 世界のエコシステムを活用してスケールアップするスタートアップ (メンターの活用：PMF検証、KOL/PoC/顧客獲得 他)
- 海外投資家からの資金調達について
- フードテック分野での世界での販路開拓について (食品・飲料分野を例に)



海外スタートアップ企業との協業・出資を検討する企業向け JETRO東京・海外展開支援解説セミナー

日時：2023年8月25日14時00分～16時00分

場所：室町三井カンファレンス + zoomウェビナー

講演者：JETROイノベーション部 樽谷 範哉 氏、廣田 新 氏

現地参加者：8名

オンライン参加者：8名

概要：

- 世界にスケールするスタートアップの mindset (シリコンバレーの事例から)
- 大企業からみたイノベーション戦略 (オープン・イノベーション)
- 大企業のシリコンバレー活用 (オープン・イノベーション拠点)
- オープン・イノベーション推進におけるJETROの取り組み



(3) スタートアップエコシステムの強化

② 海外展開及びスタートアップ強化セミナーの開催

欧米トップVC～アクセラが期待するポイント～
著名VCと話題の米代替肉スタートアップ創業者のメッセージ付き！

日時：2023年11月14日14時00分～16時00分

場所：東京ミッドタウン八重洲

進行：Wildcard Incubator LLC. 熊谷 伸栄 氏

現地参加者：9名

概要：

- 日本のスタートアップが欧米市場から注目されるポイント、事業会社と欧米スタートアップとのビジネスの肝 / Wildcard Incubator LLC. 熊谷 伸栄 氏
- 日本SUが海外に進出する際の留意点・アドバイス / SOSV/Indie Bio/HAX Joffe氏
- 日本SUが海外に進出する際の留意点・アドバイス / Evo Foods Dixit 氏
- ほか、2社よりビデオメッセージ



フードテックスタートアップ強化セミナー

日時：2023年11月25日13時00分～18時00分

場所：東京ミッドタウン八重洲

参加者：9名

概要：

- フードテックスタートアップ採用組織づくりの要諦 / Professional Studio (株) 代表取締役 市川 龍太郎氏
- 海外展開を見据えた法律実務 / 森濱田松本法律事務所弁護士 中野 玲也氏
- 大手企業との協業、CVCからの出資獲得戦略 / 味の素 (株) マネージャー 斎藤 博幸氏
- フードテックスタートアップ強化の為の行政施策について / 農林水産省



(3) スタートアップエコシステムの強化

③ 日本らしさの追求（和食や健康価値の追求）に関するセミナーの開催

健康情報統合データベース構築と活用

日時：2023年9月22日14時00分～16時00分

場所：ZOOMウェビナー

オンライン参加者：85名

概要：

- well-being向上をめざしたセルフケア食開発のための機能性成分データベース等データの活用について／農研機構 食品研究部門 山本(前田)万里氏
- マイクロRNAを介した食品の健康維持・増進効果／九州大学大学院 農学研究院 立花 宏文氏
- 日本人健康者腸内マイクロバイオーム情報の整備と活用／産総研 バイオメディカル研究部門 関口 勇地氏

日本食・日本産農産物の海外展開と輸出戦略

日時：2023年11月14日16時00分～18時00分

場所：ZOOMウェビナー

オンライン参加者：33名

概要：

- 日本食・日本産農産物の海外展開と輸出戦略／農研機構 研究管理役 後藤一寿氏
- フランスでの日本酒普及活動について／有限会社 Freeman France ベコン 倫子氏
- パリを中心とした日本茶の普及、コンテストを通してのプロモーションなど／フランス日本茶大使 能宗-Lelong 美佐子

日本食ブームを支える技術

日時：2023年12月12日16時00分～17時00分

場所：ZOOMウェビナー

講演者：Kikkoman Europe R&D Laboratory B.V. 佐藤 拓也氏

オンライン参加者：62名

概要：

- 醤油を用いて減塩を達成する海外の研究事例
- 東洋食品卸売におけるトレンド 等

(4) フードテックビジネスコンテスト業務

(4) フードテックビジネスコンテスト業務

① 審査委員の選任 (1/2)

フードテックや、フードテックを活用したビジネスの情勢はもとより、食料需給・環境負荷低減など社会課題のマクロ的な視点、健康・環境志向など消費者需要やそれを含めた食産業、起業家育成・支援、資金調達、民連携等の観点に知見を持つ、全国の学識経験者、実需者、支援者などより二次審査員では以下4名を選任した。

| 氏名 | 所属 | プロフィール |
|--------|--|--|
| 有馬 暁澄 | Beyond Next Ventures株式会社 | 丸紅入社。穀物本部にて、トレーディング事業を通じて生産から販売までのアグリ全般に携わる。2019年8月、当社に参画。アグリ・フードテック領域のスタートアップへの出資・成長支援に従事。産学官民のアグリ・フードのエコシステム構築にも邁進。慶應義塾大学理工学部生命情報学科卒業。 |
| 大野 泰敬 | 株式会社スベックホルダー | 複数企業を経営する事業家兼投資家。ラジオNIKKEIの情報番組「ソウミラ」のメインパーソナリティ。ソフトバンク株式会社で新規事業などを担当した後、CCCで新規事業に従事。2008年にソフトバンクに復帰し、当時日本初上陸のiPhoneのマーケティングを担当し、シェア拡大に貢献。独立後は、企業の事業戦略、戦術策定、M&A、資金調達などを手がけ、大手企業14社をサポート。テクノロジーに精通しており、東京オリンピック大会組織委員会ITアドバイザー、農林水産省農林水産政策研究所客員研究員にも就任。現在は大手企業の顧問・アドバイザーなど複数兼務しながら、地域活性化や観光サポートなどを実施。 |
| 進藤 かおり | 株式会社パソナグループ | 2010年株式会社パソナグループに入社。社内起業家のためのインキュベーションファンドの事務局長を務める。起業による雇用増増を目指し、社内起業家の輩出に力を注ぐ。スタートアップのビジネスモデルの分析など、日系投資顧問会社のファンドマネージャーの経験を活かし、社内起業家のメンターや事業構築に携わる。 |
| 村田 靖雄 | オイシックス・ラ・大地株式会社 Future Food Fund 株式会社 | 2008年よりオイシックス株式会社に入社、品質管理、青果仕入れ、店舗事業部などを経て、2018年より経営企画本部にてベンチャー投資セクションに配属。2019年食に特化したベンチャー投資を行う「Future Food Fund 1号投資事業有限責任組合」を組成、ファンドマネージャーとしてCVCの運営を行う。Future Food Fund は、CVCでありながら、他の食に関係する事業会社からの出資を集めて運営する、ユニークな組織形態が特徴です。オイシックスの前職でも、農産物、加工食品双方の商品開発を経験し、投資先のベンチャーには主に事業面での支援を行う。 |

(4) フードテックビジネスコンテスト業務

① 審査委員の選任 (2/2)

本審査委員では二次審査の審査員と重複しない形で、以下5名を選任した。

| 氏名 | 所属 | プロフィール |
|-------|---------------------|---|
| 荻野 浩輝 | 一般社団法人AgVenture Lab | 1990年農林中央金庫入庫。2000年UC-Berkeleyに留学。2017年デジタルイノベーション推進部新設、執行役員同部長就任。2019年5月AgVenture Labを設立、代表理事理事長就任。2021年4月農林中央金庫特別参与就任。神戸大学アントレプレナーシップセンター客員教授。 |
| 松本 恭幸 | アグリビジネス投資育成株式会社 | 静岡県出身。慶応大学経済卒、コーネル大MA、ロンドン大Ph.D.。日本長期信用銀行を経て1999年農林中央金庫入庫。開発投資部副部長、シンガポール支店長、営業第二部長、投融資企画部長、常務理事、常務執行役員グローバル・インベストメンツ本部副本部長、常務執行役員食農法人営業本部副本部長を歴任し、現職に就任。 |
| 田中 宏隆 | 株式会社UnlocX | パナソニックを経て、マッキンゼーにてハイテク・通信業界を中心に8年間に渡り、成長戦略立案・実行、M&A、新事業開発、ベンチャー協業などに従事。17年、シグマクスに参画。同年、スマートキッチン・サミット・ジャパンを立ち上げ、以来食を起点とした事業共創エコシステムの形成を通じた新産業創出を目指す。米スマートキッチン・サミット (SKS)、Rethink Food (米CIA) をはじめとした国内外での多数の講演、メディアを通じた情報発信にも積極的に取り組む。 |
| 柏原 正樹 | 味の素株式会社 | 味の素株式会社 執行役、ビジネスモデル変革担当。グローバルコーポレート本部 R & B (リサーチ & ビジネス) 企画部長として研究開発企画と新事業開発を担当する。大阪府出身。京都大学農学部卒、農学研究科修士課程修了。1990年味の素株式会社入社。食品開発研究所、東京支社、タイ味の素、研究開発企画部、経営企画部、食品研究所商品開発センター長、同技術開発センター長、等を経て現職へ。2017年執行役員、2021年執行理事、2022年執行役(現職)。 |
| 長田 昌士 | 明治ホールディングス株式会社 | 明治乳業(現 明治)で乳児用粉乳等のニュートリション開発研究、米国カリフォルニア大学デービス校客員研究員等を経て、商品開発部長を担当した後、明治HD 価値共創センターでセンター長を務める。岩手大学非常勤講師や、食品の国際規格Codexの専門委員等も歴任。 |

(4) フードテックビジネスコンテスト業務

② ビジネスプランの募集 (1/2)

農林水産省及びフードテック官民協議会との協議の上、以下の通り行った。

- 実施スケジュール：



- 実施方法：両部門とも企業・個人どちらからの応募を可能としたうえで、事業化を目的とした具体的な検討が行われている『ビジネス部門』、アイデア段階でも応募可能な『アイデア部門』を設定した。

ビジネス部門

既にビジネスとして具体的な事業検討が行われている取組
※展開中の事業であってもさらなる成長や発展が見込まれるプラン等も応募可

アイデア部門

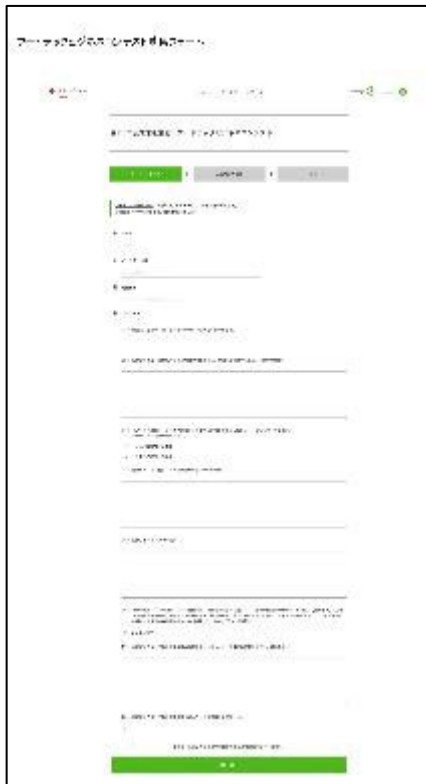
ビジネス部門に該当しないアイデア段階の取組

(4) フードテックビジネスコンテスト業務

② ビジネスプランの募集 (2/2)

専用Webサイトにて募集要項を公開。公募期間は令和5年8月21日（月）～令和5年10月15日（日）とし、広報用ポスターの送付、メルマガ、農林水産省HP等により周知し、94件の応募があった。

エントリー画面



周知ポスター



周知先 (一例)

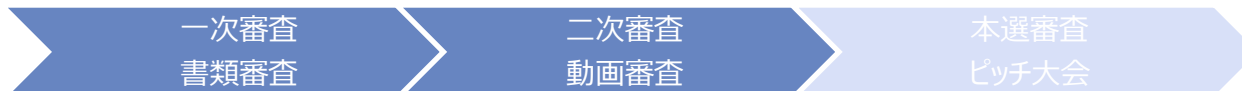
| # | 媒体 | 実施先・対象 | 対応者 |
|----|----------|--------------------------|-------------|
| 1 | プレスリリース | 農林水産省 | 農林水産省 |
| 2 | プレスリリース | パソナ農援隊 | パソナ農援隊 |
| 3 | プレス関連 | @プレス | NTTデータ経営研究所 |
| 4 | HP | 農林水産省新事業創出 (フードテック等) ページ | 農林水産省 |
| 5 | HP | FoodTechLab | NTTデータ経営研究所 |
| 6 | HP | NTTデータ経営研究所 | NTTデータ経営研究所 |
| 7 | HP | 登竜門 | パソナ農援隊 |
| 8 | HP | Peatix | パソナ農援隊 |
| 9 | メルマガ | フードテック官民協議会 | NTTデータ経営研究所 |
| 10 | メルマガ | 食料産業クラスターメルマガ | 食品供給研究センター |
| 11 | メルマガ | パソナ農援隊メルマガ | パソナ農援隊 |
| 12 | 掲示 | 農村漁村発イノベーションセンター | パソナ農援隊 |
| 13 | 掲示 | 各大学農学部・農業高校・農業大学校等 | NTTデータ経営研究所 |
| 14 | Twitter | NTTデータ経営研究所 | NTTデータ経営研究所 |
| 15 | Facebook | NTTデータ経営研究所 | NTTデータ経営研究所 |

(4) フードテックビジネスコンテスト業務

③ 審査委員会の運営

1次審査、2次審査は以下要領で書面開催とした。

審査の流れ



一次審査（パソナ農援隊/フードテック官民協議会事務局（農林水産省・NTTデータ経営研究所））

審査期間：令和5年10月16日～10月25日 エントリーフォームおよび添付資料による書類審査

二次審査

審査期間：令和5年11月27日～12月15日 一次審査を通過した応募者のプレゼン動画（5分）・資料により外部審査員4名による審査

審査項目

一次・二次共通

新規性【重点項目】

着眼点が斬新であること、類似事業がないこと

実現可能性【重点項目】

事業化の可能性・実現可能性が高いこと（評価対象）

・ビジネス部門：応募時点から5年間の事業計画・アイデア部門：想定する事業開始時点から5年間の事業計画

将来性【重点項目】

ビジネスとして成長が見込めること、収益性があること

課題解決力

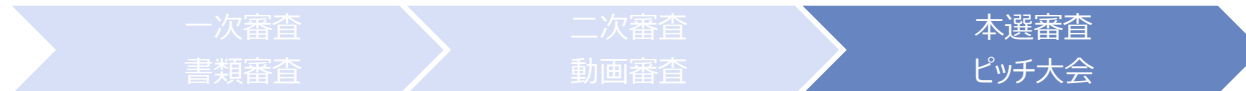
想定する社会課題に対して解決する方法が明確であること

(4) フードテックビジネスコンテスト業務

④ 本選審査及び表彰式の運営 (1/3)

本選審査はピッチ大会として、東京ミッドタウン八重洲で開催した。

審査の流れ



本選審査

開催日時：2024年2月3日（土）13時00分～16時30分（交流会：16時30分～18時00分）

会場：東京ミッドタウン八重洲（東京都中央区八重洲二丁目2番1号）JR「東京」駅地下直結（八重洲地下街経由）

当日スケジュール：

11時00分 本選出場者会場入り 注意事項説明/リハーサル 司会者会場入り

12時00分 農林水産省会場到着

12時20分 本選審査員参集・審査員審査要領説明

12時30分 フードテックビジネスコンテストサポーター会場入室

13時00分 未来を創る！フードテックビジネスコンテスト

1. 開催挨拶

農林水産省大臣官房新事業・食品産業部長小林大樹様

2. 発表順番・注意事項説明

13時10分 プレゼンテーション開始

アイデア部門→ビジネス部門合計12組

（ピッチ5分+審査員コメント1組10分を想定）

15時30分 審査（別室で審査会開催）

16時00分 審査結果発表

16時20分 閉会

16時30分 交流会（出場者・審査員・FTBCサポーター・FT官民協議会）



(4) フードテックビジネスコンテスト業務

④ 本選審査及び表彰式の運営 (2/3)

本選出場者はアイデア部門から5名、ビジネス部門からの7名。受賞者は5名。

情報はホームページにて公開 (https://foodtech-evolve.jp/wp/wp-content/uploads/2024/02/foodtechresult_01.pdf)

本選出場者

受賞者

【アイデア部門】 (五十名順)

| | 氏名 | 所属 | タイトル |
|---|-------|--------------|--|
| 1 | 金沢 恵子 | 神戸情報大学院大学 | Edu MEAL: 食事と運動した動画配信による食育サピス |
| 2 | 雨森 典之 | 合同会社ノーエン | 多様化する消費者の嗜好に合う農産物利促するAgriColor |
| 3 | 遠崎 英史 | 株式会社プラントフォーム | 中山間地域の棚田を利用した循環農業 (プラントボックスシステム)・グリーンエネルギー (ソーラー) 活用 |
| 4 | 木多 隆史 | ミツワ株式会社事業推進部 | 3DフードプリンターとロボットのAIによる新サービスモデル |
| 5 | 南 俊輔 | グロビス経済大学院 | もったいない文化×センサー技術×AIによる食品ロス問題解決 |

【ビジネス部門】

| | 氏名 | 所属 | タイトル |
|---|--------|---------------|---|
| 1 | 荻野 友貴 | 株式会社HITOKUCHI | 47都道府県 究極フルーツコレクションシリーズ |
| 2 | 風岡 俊希 | 株式会社エンドファイト | エンドファイト「Dark-septate endophyte」を活用した汚染土壌上での腐付加価値な再生型農業の実現 |
| 3 | 倉橋 大希 | RE:ARTH (匿名) | 土壌革命〜フービーから始まる循環型土壌栽培〜 |
| 4 | 佐々木 佑介 | 株式会社ささのトマトまひび | 3D 解析技術と農業特化型 LLM を用いたデジタルツイン農業 |
| 5 | 中村 慎之祐 | 株式会社グリーンユース | 粉末化技術で“未利用食品”を新たな食品へ生まれ変わらせる |
| 6 | 平林 馨 | 株式会社ストロウト | 魚病早期診断システム開発プロジェクト |
| 7 | 山口 孝司 | AGRSIT株式会社 | ハウスの可視化を加速するSustagram Farm |

| 部門名 | 賞 | タイトル | 受賞者 |
|--------|--------|---|--------|
| アイデア部門 | 最優秀賞 | 「棚田ボックス」(循環型施設園芸) 低投資、高収益、脱炭素型食料供給システムの実現 | 遠崎 英史 |
| | 優秀賞 | もったいない文化×センサー技術×AIによる食品ロス問題解決 | 南 俊輔 |
| ビジネス部門 | 最優秀賞 | プラットフォーム微生物「DSE」によりあらゆる環境で植物の生育を実現する | 風岡 俊希 |
| | 優秀賞 | ハウスの可視化を加速するSustagram Farm | 山口 孝司 |
| — | 審査員特別賞 | 未利用食品を新たな食品へと生まれ変わらせる“粉末技術” | 中村 慎之祐 |

(4) フードテックビジネスコンテスト業務

④ 本選審査及び表彰式の運営 (3/3)

表彰式後は、交流会を開催。参加者を本選出場者・審査員・FTBCサポーター・フードテック官民協議会会員（要事前申し込み）とし、マッチング機会を創出した。

交流会

16時30分 フォトセッション

16時45分 開会ご発声 株式会社UnlocX 田中様
出場者と審査員及びVCとの名刺交換・意見交換・アドバイス

17時15分 出場者とその他参加者との名刺交換・意見交換・アドバイス

17時45分 中締めご発声 アグリビジネス投資育成株式会社 松本様

18時00分 交流会 終了



(4) フードテックビジネスコンテスト業務

⑤ 副賞等の企画

FTBCサポーターとして、15社より副賞が提供された。

情報はホームページにて公開 (<https://foodtech-evolve.jp/business-contest/partner/>)

FTBCサポーター一覧

| | |
|--|----------------------|
| ICS-net株式会社 | 食品化学新聞社 |
| アグリ創研株式会社 | 株式会社中西製作所 |
| SK弁理士法人 | Full Commit Partners |
| オイシックス・ラ・大地 株式会社 /Future Food Fund 株式会社 | 株式会社ファーマーズ・フォレスト |
| キューピー株式会社 | 株式会社三菱総合研究所 |
| くら寿司株式会社 | 明治ホールディングス株式会社 |
| 株式会社ケンコーマヨネーズ | 株式会社良品計画 |
| Sustainable Food Asia 株式会社 | |

(4) フードテックビジネスコンテスト業務

⑥ 受賞者の情報発信

フードテックビジネスコンテスト開催後は、受賞者の情報発信を行った。

情報はホームページにて公開 (https://foodtech-evolve.jp/business-contest/r05bc_report)

開催レポート



インタビュー動画

